



若者へのメッセージ 26

檀樹舎舎主

小野 晋也

【第三回】「元氣」あふれる生き方が 大切です。

今回が、連載の最終回となります。そこで、夢に向かって人生を切り開いていく上で、最も大切な「元氣」をどのように奮っていけばいいかということについて、今回は、論じてみたいと思います。

私たちは、人生の中で、数多くの困難に出会います。その時に、幾度倒れても、その度に立ち上がって、歩み続ける人たちがいます。その人たちは、失敗者ではありません。失敗を教訓として、成功に至った人と呼ばれるでしょう。この人たちは、どんなに苦しくても、挑戦し続ける氣力を失わなかった人たち、つまり、真の「元氣」を胸の中に抱き続けていた人たちだと思っております。

私は、人間というものは、この世に生まれ落

ちたすべての人が、必ず「生きる力」を備えて、

この世に生まれてきているのだと考えています。

だからこそ、赤ん坊や小さな子供であっても、

よりよく生きるために、常に成長しようと努力

します。大いなる「元氣」を備えて、生きてい

こうとするのです。

しかし、成長していく中で、だんだんと生き

る意欲を失ってしまったように見える人たちが

出てきます。なぜなのだろうかと考えてみると、

自分自身の生き方や考え方が、自分自身が本来

持っている特質と響き合う形でうまく整理がつ

けられなくて、その元氣が、自分自身の中にこ

ちやこちやのまままで閉じ込められてしまってい

るということではないでしょうか。

それならば、どうすればいいのかといえば、本来の自分自身をよく知って、その自分自身とうまく調和する形の生き方や考え方を形作っていくということが大切ではないでしょうか。私は、そのための四つのヒントをここで提示しておきたいと思えます。

まず第一には、「自分を静かに、そして深く見つめる時間を持つこと」です。中途半端に行動することを止めて、ただひたすら心の中に深く深く沈み込んでいこうとすることです。そして、その光さえ届かない心の深海の中に潜んでいる、自分自身の真の姿を見つけて出すのです。

第二には、逆に、「邪念を持たずに、徹底して行動すること」です。人は、本気で行動していれば、必ずさまざまなものどぶつかり合います。その時に、火花が散ります。その瞬間、自分自身の殻が一瞬割れて、自分自身の姿を垣間見ることができるようになります。

第三には、「自分の外に、自分自身を映し出してくれる鏡を持つこと」です。読書をしたり、映画を見たりしている時、強い感動を覚えて、思わず涙を流してしまっていることはないでしょうか。その感動を覚えているのは、他の誰でもない、あなた自身の心です。つまり、自分の外にある何かに触れて、あなた自身の真の心が動

色紙
プレゼント
のお知らせ

■小野晋也先生ご揮毫の色紙を1名様にプレゼントいたします。はがきに、「小野 晋也先生の色紙希望」と明記のうえ、「若者へのメッセージ」に対するご意見・ご感想を添えて、編集部宛にお申込みください。締め切りは9月28日（金）です。ふるってご応募ください。なお、色紙の発送をもって発表にかえさせていただきます。

「人生は夢出せ！ 知恵出せ！ 元気出せ！」



いたのです。その心こそが、鏡に映った自分自身の姿です。それをしっかりと掴み取ることが大切だと思います。

第四には、「大きな何かに包み込まれている自分自身を感じる事」です。自然の中に身を置いておるとき心地よさ、大宇宙を頭の中に思い描いているときの幸福感、そのようなものを感じたことはないでしょうか。大いなるものの中に確かに存在している自分に気づけば、その大いなるものの原理が、自分自身と共通しているものであることに気がつくはず。その大いなる原理を、しっかりと掴み取ることが大切です。

このような方法で、私たちは、自分自身の本質に気づくことができるのだと思います。そしてそれに気がつけば、その本質的なものを足場にしながら、自分自身のあり方を常に振り返る中から、自分の生き方や考え方を整えていくことができるのではないのでしょうか。そうすると、生来自らの中に持っている「元気」が、外に向かって自然に溢れ出すような人生になるのではないのでしょうか。

皆さんが、「夢出せ！ 知恵出せ！ 元気出せ！」という言葉をも胸に抱いて、これからの人生を力強く切り開いていけることを、心から願っています。